報知新聞社杯TIPSTAR杯 FI



11/14(土)15(日)16(月) ナイター開催 川崎スポーツ

S級ともに脚力差無く激戦必至

レース展望

11月14日から始まる川崎FIナイターは報知新聞社杯争奪戦・TIPSTAR杯。

S級・A級ともに全国各地区から好選手が集まり、連日の熱戦が予想される。

今開催のS級戦は傑出者が不在で、どこからでも狙えるメンバーとなっている。まず東北からは今期2班ながら実績は断然の渡邉一成(福島88期)が登場。43才の現在でもその機動パワーは健在で、得意のカマシ発進から積極果敢なレースぶりを各地で披露している。55才にして堂々のS1を張り、S級最高齢優勝の記録を持つ内藤宣彦(秋田67期)との連係からは目を離せない。関東勢では徹底先行でメキメキ力を付けている堀江省吾(長野119期)がブンブン駆けるのは間違いなく、山下渡(茨城91期)や桑名僚也(埼玉119期)らと好連係を目論む。南関のS1はホームバンクの塩島嵩一朗(神奈川125期)。8月松山オールスターGIでは上位陣の厚い壁にはね返されたものの、FIクラスではもちろんコンスタントに1着を積み上げている。久々の決勝進出を狙って気合は十分だろう。野口裕史(千葉111期)や鈴木陸来(静岡117期)らもいて、今回の南関勢は自力型が粒ぞろい。中部近畿は追込志向が強くなった大石崇晴(大阪109期)がどのような立ち回りを見せるか気になるところ。中四国では徳島勢3車が参戦。積極的な久田裕也(117期)・自在型に戦法を変えつつある小川丈太(111期)・得点上位の山形一気(96期)とバランスもなかなか良く、一撃を狙って来そうだ。九州勢はGI3勝の中川誠一郎(熊本85期)が主力になり、タテヨコ何でもこなす原口昌平(福岡107期)や後輩佐藤壮志(熊本123期)に前を託すか、衰え知らない機動パワーを発揮してバックから前団を飲み込むか。

A級戦では90点以上を持つ123期の積極型松本京太(静岡)と内山慧太(福井)を中心にレースが進みそうで、松本マークは地元松坂英司(82期)や巴直也(101期)、内山には加藤寛治(愛知83期)や三宅裕武(三重88期)が続く。キメ脚上位の藤原憲征(新潟85期)・相澤政宏(宮城99期)・中村良二(福岡81期)らも目標次第で優勝争いに参加できる実力だ。

S級 主力選手



塩島嵩一朗 神奈川 125期

大学時代は自転車競技で活躍して、卒業後はボートレーサーを目指すも断念。そこから競輪選手の道を選び、小原太樹(95期)に師事する。ダッシュを生かした自力勝負で昨年はS級初優勝も達成したが、近況は落車の影響でやや苦戦中。地元戦できっかけを掴みたいところだ。

S級 主力選手



渡邉一成 福島 88期

ナショナルチームで長年活躍しつつ、競輪でもGI優勝3回など、数々の実績を残してきた経験豊富なベテラン。人の後ろを回る機会も増えてきたが、近況は自力勝負で復調の兆しがうかがえる。今期は2班の格付けで予選スタートだが、北日本ラインの主軸としてけん引していく。

S級 主力選手



久田裕也 徳島 117期

今シリーズ注目したいひとり。成績自体は不安定さが続くが、随所に復調の気配がうかがえる。勝ちパターンは捲りに偏っているが、長い距離も踏めるパワーもある。同県犬伏湧也(119期)のGI制覇をはじめ、勢いに乗る四国勢。否が応にも刺激が入ってきているはず。

A級 注目選手



松本京太 静岡 123期

1月にS級から降級して来てからは、5Vを挙げて順調そのものだったが、6月岐阜の落車で急ブレーキ。7月以降、今期に入ってからも苦戦が続いている。今期のS級昇級の競走得点を達成するには、ここが正念場になるはずで、南関勢の中心として結果を残したいところだ。

A級 注目選手

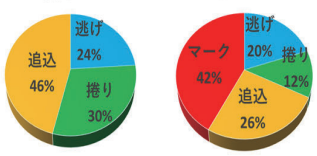


内山慧大 福井 123期

昨年は全プロ競技大会(チームスプリント)で好成績を納めて、寛仁親王牌GIに出場。スプリント能力が高い選手だ。降級後はやや物足りない成績ではあるが、ダッシュを生かした自力勝負で、自分の勝ちパターンに持ち込めば数字以上の力。V候補の一角として注目したい機動型。

川崎競輪場バンクガイド（2024年1月～12月データ）

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感じであり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル